

第 15 回年次総会を開催

中村 弘 (副会長)

去る 6 月 26 日霞山会館に於いて平成 30 年度理事会・総会が開催されました。先ず理事会では平成 29 年度の事業と会計報告があり、次いで平成 30 年度の活動計画と予算、新役員人事、年会費の値上等の議案が承認され、総会へ提議され原案どおり可決されました。尚主な活動報告として昨年度は Maue 元駐日大使の叙勲祝賀会の開催、第 8 回島サミット実務者歓迎レセプションへの出席、ごらくちょう 4 回、メールマガジン 38 回の発刊、2 月にエンガ州で発生した M7.5 の震災に対する義援金の募集と現地送金、留学生への奨学金の支給等を実施致しました。又今年度は従前の活動に加え協会主催の PNG ツアー及び長岡花火ツアーの実施があり、また 9 月の独立記念の祝賀会とゴルフ大会は新大使が着任され開催が決まればその実施に協力を致して参ります。

次いで右記の新役員人事が承認されました(敬称略)。



また年会費の値上げは協会発足以来 14 年にして初めてであり諸物価上昇の為来年 4 月の会費の徴収から実施する事になりましたので皆様のご協力をお願い申し上げます。(法人会員) 5 万円から 6 万円へ (個人会員) 5 千円から 6 千円へ (家族会員) 5 千円から 3 千円へ減額。

最後に総会終了後の懇親会には 30 名の会員が出席頂き会員相互の親睦を深める事が出来ました事も併せてご報告致します。



退 任		新 任	
副会長	唐沢 敬	副会長	及川 正博 (立命館大学教授)
理 事	関本 暁	理 事	堀江 正夫 (当協会顧問)
理 事	成岡 圭子	理 事	豊田由貴夫 (立教大学教授)
		理 事	長谷川香織 (住友林業海外資源部長)

平成 30 年度 役員理事リスト (敬称略)

名 誉 顧 問	マイケル・マウエ	元駐日パプアニューギニア特命全権大使	理 事	郡 修 三	株式会社郡産業 代表取締役
顧 問	安田 藤一郎	全国ソロモン会 会長	理 事	鈴木 紀久代	新潟パプアニューギニア協会 事務局長
顧 問	日本パプアニューギニア 友好議員連盟の諸先生方	代表 田中 和徳 (衆議院議員, 日本・パプアニューギニア友好議員連盟会長)	理 事	長 宏 行	財団法人オイスカ 国際協力部 部長
名誉会長 (理事)	村 田 吉 隆	前日本パプアニューギニア友好議員連盟会長、 元国家公安委員長	理 事 (新任)	辻 尚 志	元 JICA パプアニューギニア所長
名誉顧問 (理事)	谷 口 誠	桜美林大学北東アジア総合研究所特別顧問、 前日本パプアニューギニア協会会長、 元駐パプアニューギニア日本国大使、 元日本国国連大使	理 事	豊田 由貴夫	立教大学教授
顧問 (理事 新任)	堀 江 正 夫	東部ニューギニア戦友遺族会会長、元参議院議員、 元日本・パプアニューギニア友好協会会長	理 事	西 山 肇	元駐パプアニューギニア日本国大使
会長 (理事)	山 下 勝 男	元 駐パプアニューギニア日本国大使	理 事	橋 廣 治	元駐パプアニューギニア日本国大使、作家
副会長 (理事)	中 村 弘	晃和木材株式会社元代表取締役社長	理 事 (新任)	長谷川 香織	住友林業株式会社 海外資源部長
副会長 (理事)	志 村 容 一	シムラロッヂ オーナー	理 事	花井 鍊太郎	三重県 JICA 育てる会 理事顧問、 鈴鹿大学・鈴鹿短大 客員研究員
副会長 (理事)	及 川 正 博	立命館大学特任教授	理 事	原 晃	コーエイ総合研究所顧問、 元 PNG 政府外国人契約公務員
	以下 50 音順		理 事	武 藤 優	株式会社パプアニューギニア海産 代表取締役
理 事	賀集 イレーネ	アルゼンチン共和国弁護士	理 事	村 越 裕 之	コスモメディア株式会社代表取締役
理 事	川 口 正 義	日本旅行作家協会会員	理 事	柳 田 正 弘	株式会社かもめ 取締役
理 事	喜多村 裕介	元 JICA パプアニューギニア所長	事務局長 (理事)	島 田 謙 三	元ニューギニア航空 日本支社長、 日本ビジネスライン株式会社 代表取締役
			監 事	土屋 耕太郎	土屋法律事務所 弁護士
			顧問 弁護士	中 村 哲 朗	小川総合法律事務所 弁護士

日本・パプアニューギニア協会親善訪問団一行 9 名（団長：西山肇理事、副団長：川口正義理事）は 5 月 26 日から同 30 日まで 3 泊 5 日の日程でパプアニューギニア（以下 PNG）を訪問しました。

5 月 28 日午前ラバウルの「南太平洋戦没者の碑」を参拝し、追悼式を行いました。またニューギニアの地にまだ眠っているご遺骨が、早期に祖国に帰還できるよう祈念いたしました。一方お父様の最後の地を探すため、マダンを訪問した団員の方もおられます。



同日昼、ラバウルの「OISCA 研修センター」を訪問し、食堂でスタッフの心尽くしのランチをいただいた後、およそ 50 人の「バンブーバンド」による演奏と合唱を鑑賞しました。「ラバウル小唄」が披露されたときは胸に迫るものがありました。筒をたたいて発せられる音は力強く、歌声は美しく、青空に吸い込まれていきました。



29 日ラバウルから朝 8 時過ぎにポートモレスビー入りました。高層ホテルも立ち、道路も整備され、あちこち「APEC 2018 PAPUA NEW GUINEA」と書かれた看板

が立っていました。

11 月には APEC 閣僚会議。APEC 首脳会議が PNG で開催される予定ですが主催国としてのプライドと意気込みが感じられました。



29 日夕刻、日本大使公邸で中嶋敏大使主催のレセプションが催され、ソマレ元首相、マウエ元駐日大使、ドサバ前駐日大使、ロバ赤十字事務局長など約 40 名の方が出席され、和気藹藹とした雰囲気の中で歓談し交流を深めることができました。最後にソマレ元首相をかこんで出席者全員で記念写真を撮りました。

限られた時間の訪問ではありましたが、友好親善の促進という所期の目的は達成されたものと思います。

この度の訪問に際し、ご協力いただいた多くの方々に厚く御礼申し上げます。



協会の奨学生からの感謝のレポート

Alice Napasu アリス ナパス (2011-2013 年 奨学生)

私はパプアニューギニアのウェスタンハイランズ州出身のアリス ナパスです。2011-2013 年の日本・パプアニューギニア協会の奨学生で、今も誇りに思っています。

パシフィック・アドベンティスト大学 (Pacific Adventist University) では、数学を専攻する中等教育の学士号を取得しました。私は州の農村部から来て参りましたが、私の両親は毎日大変苦労しておりました。

日本・パプアニューギニア協会から奨学金をご提供いただき、協会に本当に感謝いたしております。協会は私の教育に大きなサポートご提供してくださり、私はこのご恩を永遠に忘れません。

私は 2013 年に学士号を取得し、累積 GPA 3.55 を得て卒業しました。教育者として、私の目標は、国での数学の学習を改善することであり、教員サービス委員会に採用されたことは幸運でした。私は 2014 年から 2015 年まで西部高原地方の Kitip 中等学校で 11 年生と 12 年生の一般数学を教えました。私の学生のほとんどは現在、大学の 2 年生と 3 年生になっています。



私はパプアニューギニアの数学教育の改善に関する学習方法に焦点を当てた論文を書き、2016 年、パシフィック・アドベンティスト大学で哲学の修士号を取得することが認められました。

私は論文を雑誌に掲載されるのを待っており、また、国の数学教育の改善に貢献することを楽しみにしています。私は現在博士課程を目指していますが、私の博士号のスポンサーを探す必要があります。私は現在、ポートモレスビーの様々な学校に無料で専門的な開発を提供しようとしています。

最後になりますが、日本・パプアニューギニア協会が私に提供してくださいました、奨学金支援について重ねて感謝したいと思います。皆さんのサポートは私を育ててくださいました。私は永遠に感謝しています。

協会が今後も同様に、多くの苦勞をしている PNG の人々へのサポートを継続し、そのような人々の人生を豊かにしてくださいと確信しております。

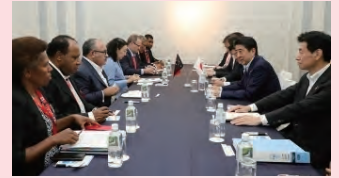
中嶋 敏 (在パプアニューギニア特命全権大使)

5月18日から19日にかけて福島県いわき市において第8回太平洋・島サミットが開催され、PNGからはオニール首相とパト外務貿易大臣が出席しました。会議の結果と概要については以下の外務省のホームページのリンク (https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/ocn/page4_004028.html) をご参照願います。

パト外貿相はサミットに先立って、5月16日に河野外相との夕食会に臨みました。その際に、日・PNG間で締結されている航空協定の付表改正の署名式が行われました(写真は外務省HPより)。この改定により、ミクロネシア連邦を経由する航空路線が設定されることになりました。同路線は本年9月1日から就航する見込みです。詳細はニューギニア航空ウェブサイト (<http://www.airniugini.jp/news/20180528.pdf>) をご参照願います。また、パト外貿相は日本滞在中、日本企業関係者とも積極的に意見交換を行いました(写真は外務省HPより)。



オニール首相は、フィリピンを公式訪問した後、日本に到着し、5月17日に皇居で天皇皇后両陛下とのお茶会に臨みました。この様子や翌18日のいわき市での安倍総理との首脳会談については当地紙において大きく取り上げられました。首脳会談を通じて良好な日・PNG関係が再確認されました。



PALM8では我が国が進める「自由で開かれたインド太平洋戦略」について活発な議論が行われました。各国首脳からは、「自由で開かれたインド太平洋戦略」や新たなイニシアティブを通じる我が国の積極的かつ建設的な貢献に対し歓迎が示されました。我が国としては引き続きリーダーシップを発揮して、太平洋において、法の支配に基づく自由で開かれた持続可能な海洋秩序を促進し、地域の平和、安定、繁栄に貢献していきたいと考えています。



荻原 聖子 (パプアニューギニア大使館 大使秘書)

はじめに。

2018年5月18～19日に日本と太平洋島嶼国による、第8回太平洋島サミットが福島県いわき市にて開催されました。PNGよりオニール首相、パト外務大臣も来日されました。

その模様は、上記にて在 PNG 日本大使館の中嶋大使のコラムにて紹介されています。

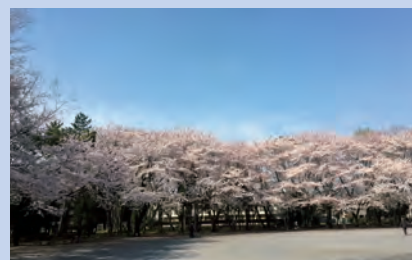
PALM8 に関しての重複を避けるため、今回は大使館周辺の人気スポットをご紹介します。

大使館は南北線武蔵小山の駅より徒歩15分と駅からは距離があり、都心からも離れていますが、閑静な住宅街の中にあります。隣には広大な林試の森公園があり、桜の時期には大きな広場いっぱいに沢山の桜並木が広がる素晴らしい場所です。駅から公園を通り抜ける道からは離れている場所なので、我々大使館スタッフも、去年まではその広大な桜並木の存在を知りませんでした。去年初めてその桜並木の場所を発見し、それからはランチタイムの憩いの場となっています。ヤボン臨時代理大使も時々リフレッシュされているようです。

さて、先日7月20日は土用の丑の日でした。目黒不動尊のすぐそばに、有名な「八つ目や にしむら」さんという鰻のお店があります。先日無謀にも仕事終わりに土用の日ににしむらさんに行ってみたのですが、猛暑にもかかわらず長蛇の列でした。我々も5分ほど並んでみましたがやはり猛暑と長蛇の列に早々に挫折して諦めてしまいました。

他にも大使館周辺には知られざる隠れ家的スポットがありますので、また随時ご紹介させていただきたいと思います。

皆様も大使館にお寄りの際は、お時間のある時には是非周辺を散策していただければ都会の喧騒から離れてリフレッシュできるかと思います。



“食ベログから引用”

皆さん、こんにちは。パプアニューギニア（PNG）海産と申します。既に、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、安心安全なPNG産天然海エビを取り扱っています。

本社・工場（と言っても、とても小さいものです）は、大阪府茨木市の中央卸売市場（北部市場）の加工食品売場内の一画にあります。PNG産天然エビの他、私たちの身体や環境にやさしい自然食品系の商品を取り揃えた小売店舗も併設しています。2010年までPNGで実際にエビトロール船を2隻チャーターし、生産者としてPNGの人たちと共に漁業活動を行っていましたが、東日本大震災により宮城県石巻市にあった本社・工場が津波被害で全壊したため、現地パートナーに将来を託しPNG現地事業から撤退し大阪へ移転しました。

現在はパートナーから直輸入した原料を、自社工場で消費者向け形態に二次加工した製品の流通・販売を行い、PNG産天然エビの定着を目指しています。

PNGというと極彩色豊かな民族衣装が溢れるゴロカショー、ウミガメ・マンタ・ピグミーシーホース目当てのスキューバダイビング、或いは野性味溢れるセビック川クルージング等観光目的の話題が豊富ですが、マグロをはじめとしてカニ（マッドクラブ）や天然エビ等の自然の恵みも豊富です。

PNGのホテルやレストランでは、PNGの海で漁獲された天然エビが普通に提供されていて、その美味しさは正に絶品との評価です。PNGの貴重な資源を活用し、生産者と消費者が共に幸せを感じる天然エビ流通の仕組みを、これからもPNGの人たちと協力して育てていきたいと願っています。

詳細は上記ウェブサイトにお越し頂き、チェックしてみてください。PNG産天然エビ商品のご購入はウェブサイトからでもお電話でも承っています。贈り物としても喜ばれています。どうぞよろしくお願い致します。



事務局からのお知らせ

本年度の総会も6月26日に無事に終了し、新しい体制でキックオフいたしました。関西支部長の及川理事に副会長を兼務いただくことになり、関西地区で

の活動がより活発になることに期待をしたいと思います。関西地区の会員の方々は是非とも積極的にイベント、勉強会にご参加ください。

また堀江正夫顧問にはこの度理事としても執行部にご参加を頂

くことになりました。加えて財政難の協会へ多額の寄付を頂戴いたしました。この場を借りて皆様にご報告させていただきます。

9月には加原奈穂子先生（文化人類学）のTOKTOK会開催です。ご期待ください。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っています。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員：30社 ◆ 個人会員：151名（2018年6月30日現在）

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-12 社会保険労務士会館9階 日本ビジネスライン株式会社内
TEL: 03-5216-3555 FAX: 03-5216-3556 E-mail: info@jpng.or.jp URL: http://www.jpng.or.jp/

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員5,000円 法人会員50,000円 学生1,000円 PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ